

1 次の hakken. の法則を読んで内容を覚えなさい。

ABCDE

二等辺三角形

hakken. の法則 

★**定義**…^{ていぎ}ことばの意味をはっきりと述べたものを**定義**という。

★**定理**…^{ていり}証明されたことがらのうち、基本になるものを**定理**という。

★**逆**…^{ぎやく}あることがらの仮定と結論を入れかえたものを、**定理の逆**という。

正しいことの逆はいつでも正しいとは限らない。

例 次のことがらの逆を述べ、それが正しいかどうかを答えなさい。また正しくない場合は反例も書きなさい。

「自然数 a が 4 の倍数ならば、 a は偶数である。」… I

[答]

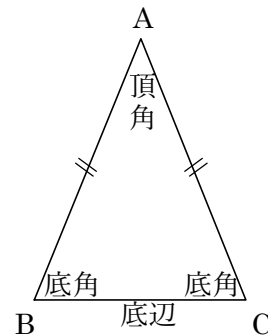
逆 自然数 a が偶数ならば、 a は 4 の倍数である。… II 正しくない 反例 6

I は正しいが、II は正しくない。たとえば、6 は偶数であるが 4 の倍数ではない。

このようにあることがらが成り立たない例を**反例**という。

★**二等辺三角形の定義**…2 辺が等しい三角形

★右図のような $AB=AC$ の二等辺三角形 ABC で $\angle BAC$ を**頂角**、 $\angle ABC$ 、 $\angle ACB$ を**底角**という。



★**二等辺三角形の性質の定理**

1 二等辺三角形の底角は等しい。(定理)

2 二等辺三角形の頂角の二等分線は、底辺を垂直に 2 等分する。(定理)

例 右の図で、 $\angle x$ の大きさを求めなさい。

[解き方] 2 辺が等しいので、二等辺三角形。
二等辺三角形の底角は等しいから、

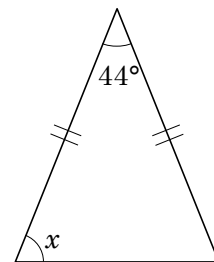
$$2 \times x + 44^\circ = 180^\circ$$

$$2x = 180^\circ - 44^\circ$$

$$2x = 136^\circ$$

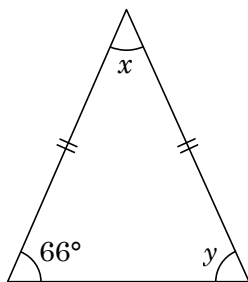
$$x = 68^\circ$$

[答] $\angle x = 68^\circ$



2 次の $\angle x$, $\angle y$, $\angle z$ の大きさを求めなさい。

ABCDE ①



$$\angle y = 66^\circ$$

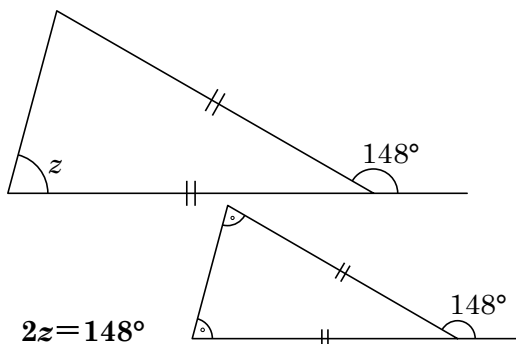
$$\angle x = 180^\circ - (66^\circ \times 2)$$

$$= 180^\circ - 132^\circ$$

$$= 48^\circ$$

$$\underline{\underline{\angle x = 48^\circ, \angle y = 66^\circ}}$$

②



$$2z = 148^\circ$$

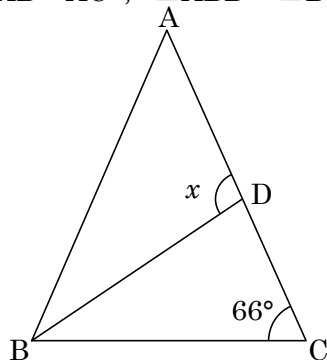
$$z = 148^\circ \div 2$$

$$z = 74^\circ$$

$$\underline{\underline{\angle z = 74^\circ}}$$

3 次の $\angle x$ の大きさを求めなさい。

BCDE ① $AB = AC$, $\angle ABD = \angle DBC$



$$AB = AC \text{ より } \angle ABC = 66$$

$$\angle ABD = \angle DBC \text{ より}$$

$$\angle DBC = 66 \div 2$$

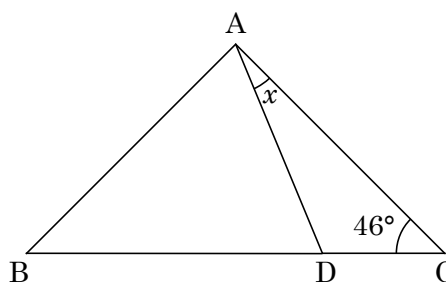
$$= 33$$

$$\angle x = 33 + 66$$

$$= 99^\circ$$

$$\underline{\underline{\angle x = 99^\circ}}$$

② $AB = BD = AC$



$$AB = AC \text{ より } \angle ABC = 46$$

$$AB = BD \text{ より } \angle BAD = \angle BDA$$

$$\angle BAD = \angle BDA$$

$$= (180 - 46) \div 2$$

$$= 67$$

$$\angle BAC = 180 - 46 \times 2$$

$$= 88$$

$$\angle x = 88 - 67$$

$$= 21$$

$$\underline{\underline{\angle x = 21^\circ}}$$

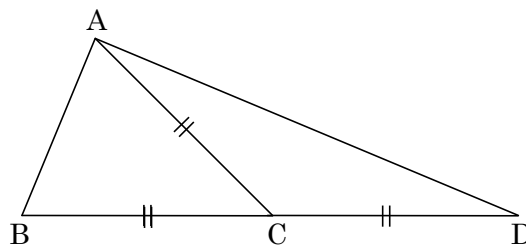
4 次の $\angle BAD$ の大きさを求めなさい。

BCDE

図より, $CA=CB$ より,
 $\triangle ABC$ は二等辺三角形
 $\angle ABC = \angle CAB = x$ とおく
 三角形の内角と外角の性質より,
 $\angle ACD = 2x$, $CA=CD$ より,
 $\triangle ACD$ は二等辺三角形,
 $\angle CAD = (180 - 2x) \div 2$
 $= 90 - x$
 $\angle BAD = \angle CAB + \angle CAD$
 $\angle BAD = x + 90 - x$

$$\angle BAD = 90$$

$$\underline{90^\circ}$$



5 右の図において, 次の問いに答えなさい。

BCDE

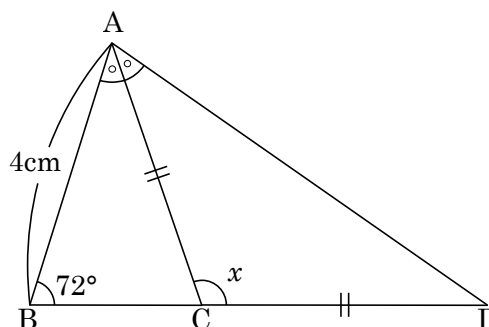
① $\angle x$ を求めなさい。

$\angle BAC = \angle CAD = \angle ADC = a$ とおく
 $\triangle ABC$ において
 $3a + 72 = 180$, $3a = 180 - 72$
 $3a = 108$, $a = 36$
 $\triangle ACD$ において, $2 \times 36 + x = 180$

$$x = 180 - 72$$

$$= 108$$

$$\underline{108^\circ}$$



② CD の長さを求めなさい。

$$\angle ACB = 180 - 108$$

$$= 72$$

$\angle ABC = \angle ACB$ から, $\triangle ABC$ は二等辺三角形,

よって, $AB = AC = CD = 4\text{cm}$

$$\underline{4\text{cm}}$$

6 次の hakken. の法則を読んで内容を覚えなさい。

ABCDE

二等辺三角形の証明

hakken. の法則 

例 $\triangle ABC$ において、 $BD=CE$ になるように、 AB 上に点 E 、 AC 上に点 D をとる。
 $\angle DBC = \angle ECB$ のとき、 $\triangle ABC$ は二等辺三角形になることを証明しなさい。

[証明] $\triangle DBC$ と $\triangle ECB$ において

仮定より $BD=CE$ …①

$\angle DBC = \angle ECB$ …②

共通な辺なので、 $BC=CB$ …③

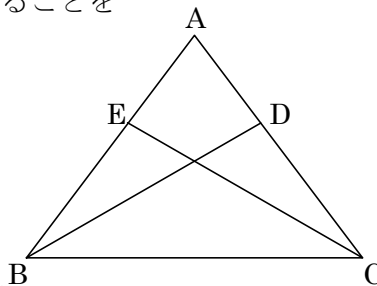
①②③より、2組の辺とその間の角がそれぞれ等しいから

$\triangle DBC \cong \triangle ECB$

合同な図形の対応する角の大きさは等しいから、 $\angle DCB = \angle ECB$

つまり $\angle ACB = \angle ABC$

したがって、2つの角が等しいから、 $\triangle ABC$ は二等辺三角形になる。



7 右の図で $AB=AC$ の二等辺三角形 ABC で $\angle DBC = \angle ECB$

ならば、 $BD=CE$ であることを証明しなさい。

$\triangle DBC$ と $\triangle ECB$ において

仮定より、 $\angle DBC = \angle ECB$ …①

共通な辺だから、 $BC = CB$ …②

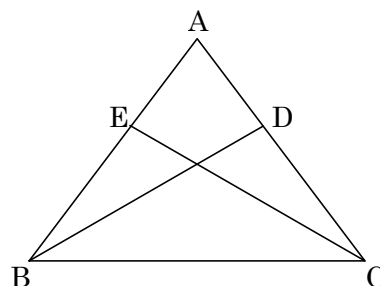
二等辺三角形の底角は等しいから

$\angle DCB = \angle ECB$ …③

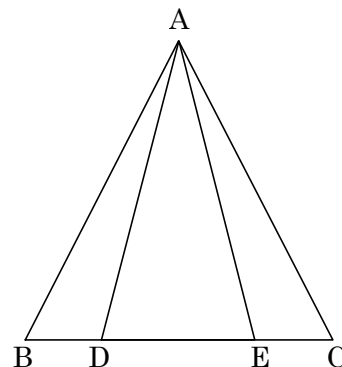
①②③より、1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しいから

$\triangle DBC \cong \triangle ECB$,

合同な図形の対応する辺の長さは等しいから、 $BD = CE$



- 8 右の図で、 $\triangle ABC$ は BC を底辺とする二等辺三角形である。 $BD=CE$ ならば
BCDE $\angle ADB = \angle AEC$ であることを証明しなさい。



$\triangle ADB$ と $\triangle AEC$ において

仮定より $AB=AC$ …①

$BD=CE$ …②

二等辺三角形の底角は等しいから

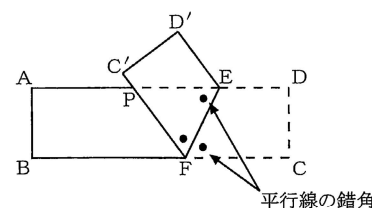
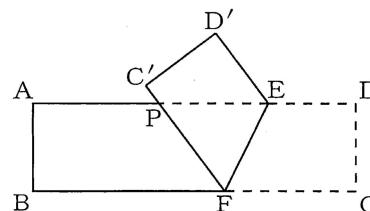
$\angle ABD = \angle ACE$ …③

①, ②, ③より

2組の辺とその間の角がそれぞれ等しいから, $\triangle ADB \cong \triangle AEC$

よって $\angle ADB = \angle AEC$

- 9 右の図は $AD \parallel BC$ である紙テープを, EF を折り目として折った図である。紙テープが重なったところの $\triangle PEF$ は二等辺三角形であることを証明しなさい。
BCDE



仮定より $\angle PFE = \angle EFC$ …①

$AD \parallel BC$ の錯角は等しいから,

$\angle PEF = \angle EFC$ …②

①, ②より $\angle PFE = \angle PEF$

2つの角が等しいから,

$\triangle PEF$ は二等辺三角形

- 10 次の hakken.の法則を読んで内容を覚えなさい。

ABCDE

正三角形

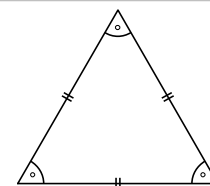
hakken.の法則

★正三角形の定義…3辺が等しい三角形

◎ 正三角形は二等辺三角形の特別なものである。

★正三角形の定理…正三角形の3つの内角は等しい。

◎ 正三角形の3つの角は 60° である。



例 右の図で, $\triangle ABC$ は $AB=AC$, $\angle B=60^\circ$ の二等辺三角形である。

このとき, $\triangle ABC$ は正三角形になることを証明しなさい。

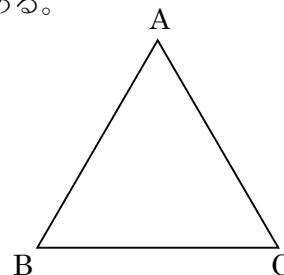
[証明] $\triangle ABC$ において, 仮定より $AB=AC$ …①

①より $\angle B = \angle C = 60^\circ$ …②

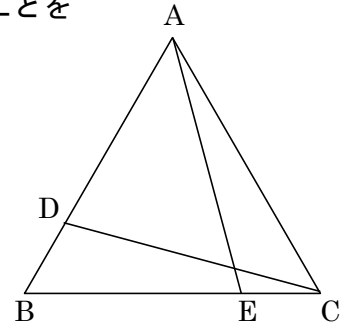
②より $\angle A = 180 - 60 \times 2 = 60^\circ$ …③

②③より $\angle A = \angle B = \angle C$

3つの角が等しいから, $\triangle ABC$ は正三角形



- 11 右の図のように正三角形 ABC の辺 AB, BC 上に, それぞれ D, E を
 ABCDE $AD=BE$ となるようにとる。このとき, $\triangle ABE \cong \triangle CAD$ であることを
 証明しなさい。



$\triangle ABE$ と $\triangle CAD$ において

仮定より, $BE=AD$ …①

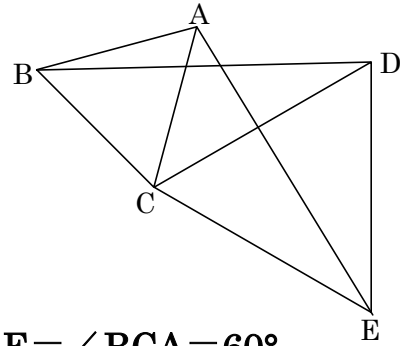
$\triangle ABC$ は正三角形だから, $AB=CA$ …②

$\angle ABE = \angle CAD$ …③

①②③より, 2組の辺とその間の角がそれぞれ等しいから

$\triangle ABE \cong \triangle CAD$

- 12 右の図で $\triangle ABC$ と $\triangle DCE$ は正三角形である。このとき, $AE=BD$ であることを証明しなさい。
 BCDE



$\triangle ACE$ と $\triangle BCD$ において,

$\triangle ABC$ と $\triangle DCE$ は正三角形なので,

$AC=BC$ …①

$CE=CD$ …②

正三角形の内角はすべて 60° なので, $\angle DCE = \angle BCA = 60^\circ$

$\angle ACE = \angle DCE + \angle ACD = 60^\circ + \angle ACD$

$\angle BCD = \angle BCA + \angle ACD = 60^\circ + \angle ACD$

よって $\angle ACE = \angle BCD$ …③

①, ②, ③より,

2組の辺とその間の角がそれぞれ等しいから $\triangle ACE \cong \triangle BCD$

合同な図形の対応する辺は等しいから, $AE=BD$

- 13 右の図で、 $\triangle ABD$ 、 $\triangle ACE$ はどちらも正三角形である。このとき、 $DC=BE$ であることを BCDE 証明しなさい。

$\triangle ADC$ と $\triangle ABE$ において、
仮定より、 $AD=AB$ …①

$$AC=AE$$
…②

正三角形の内角は 60° だから、
 $\angle DAB = \angle EAC = 60^\circ$ …③

$$\angle DAC = \angle DAB + \angle BAC$$
…④

$$\angle BAE = \angle EAC + \angle BAC$$
…⑤

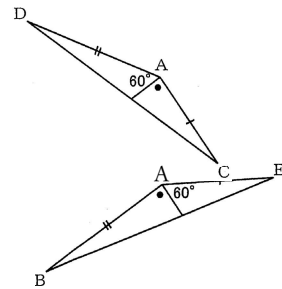
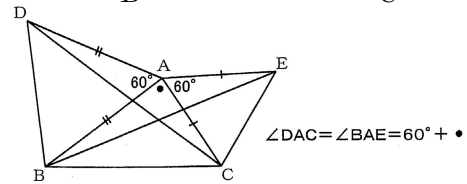
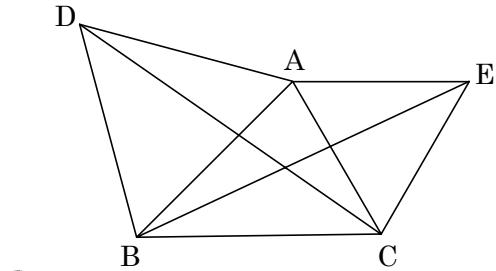
③、④、⑤より、 $\angle DAC = \angle BAE$ …⑥

①、②、⑥より、

2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい

よって、 $\triangle ADC \cong \triangle ABE$

だから、 $DC=BE$



- 14 正三角形 ABC の辺 BC 上に点 D をとり、 AD を 1 辺とする正三角形 ADE をつくる。CE を結ぶとき、 $BD=CE$ であることを証明しなさい。

$\triangle ABD$ と $\triangle ACE$ において、
仮定より $AB=AC$ …①

$$AD=AE$$
…②

正三角形の内角は 60° だから、
 $\angle BAC = \angle DAE = 60^\circ$ …③

$$\angle BAD = \angle BAC - \angle DAC$$
…④

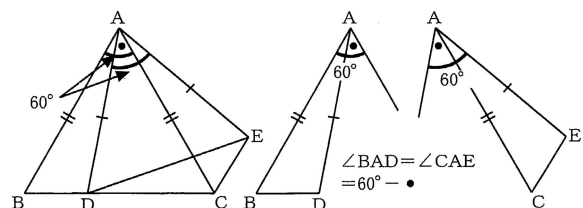
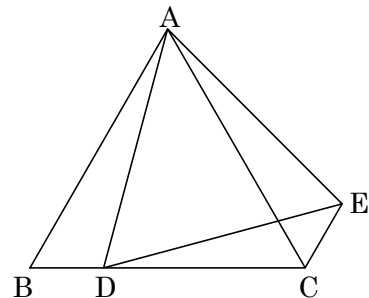
$$\angle CAE = \angle DAE - \angle DAC$$
…⑤

③、④、⑤より、 $\angle BAD = \angle CAE$ …⑥

①、②、⑥より、2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい

よって、 $\triangle ABD \cong \triangle ACE$

だから、 $BD=CE$



15 右の図で、点 E は線分 AB 上の点であり、 $\triangle AEC$ 、 $\triangle EBD$ はどちらも正三角形である。

BCDE このとき $AD=CB$ であることを証明しなさい。また $\angle APC$ の大きさを求めなさい。

$\triangle AED$ と $\triangle CEB$ において、

仮定より、 $AE=CE$ …①

$ED=EB$ …②

正三角形の内角は 60° だから、

$\angle AEC = \angle BED = 60^\circ$ …③

$\angle AED = \angle AEC + \angle CED$ …④

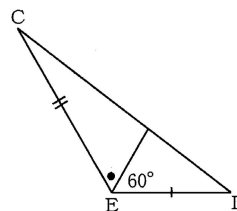
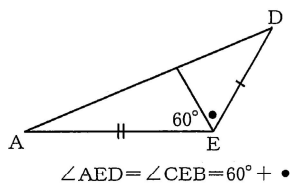
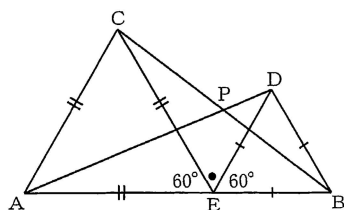
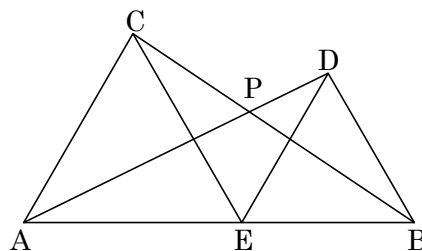
$\angle CEB = \angle BED + \angle CED$ …⑤

③、④、⑤より、 $\angle AED = \angle CEB$ …⑥

①、②、⑥より、2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい

よって、 $\triangle AED \cong \triangle CEB$

だから、 $AD=CB$



$\angle APC = \angle PAB + \angle PBA$

$\triangle AED \cong \triangle CEB$ より $\angle PBA = \angle EDA$

よって $\angle APC = \angle PAB + \angle EDA = \angle DEB = 60^\circ$ となる

16 次の hakken. の法則を読んで内容を覚えなさい。

ABCDE

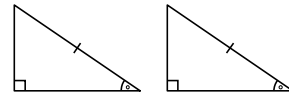
直角三角形の合同

hakken. の法則 

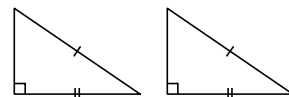
★^{しゃへん}斜辺…直角三角形の直角に対する辺を斜辺という。

★直角三角形の合同条件…2つの直角三角形は、次のどちらかが成り立つとき、合同である。

① 直角三角形の斜辺と1つの鋭角がそれぞれ等しい。



② 直角三角形の斜辺と他の1辺がそれぞれ等しい。



例 右の図で、 $\angle XOY$ 内の点 P から OX , OY にひいた垂線を PA , PB と

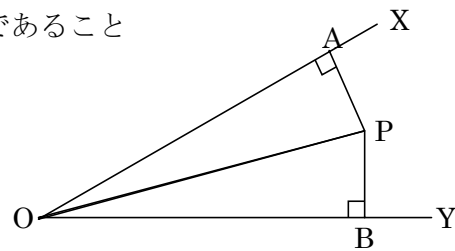
する。このとき $PA=PB$ ならば $\angle AOP = \angle BOP$ であることを証明しなさい。

[証明] $\triangle AOP$ と $\triangle BOP$ において、
仮定より、 $\angle PAO = \angle PBO = 90^\circ \dots ①$

$$PA = PB \dots ②$$

共通だから、 $OP = OP \dots ③$

①②③より直角三角形の斜辺と他の1辺がそれぞれ等しい、よって $\triangle AOP \cong \triangle BOP$
合同な図形の対応する角は等しいから、 $\angle AOP = \angle BOP$



17 右の図で、 $\triangle ABC$ は BC を底辺とする二等辺三角形である。 $AB \perp CD$, $AC \perp BE$ ならば $AE = AD$ であることを証明しなさい。

ABCDE

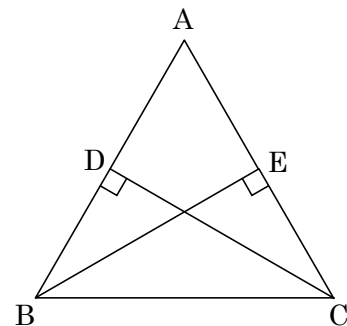
$\triangle ABE$ と $\triangle ACD$ において、
仮定より、 $\angle AEB = \angle ADC = 90^\circ \dots ①$

$\triangle ABC$ は二等辺三角形より、
2つの辺は等しいから、 $AB = AC \dots ②$

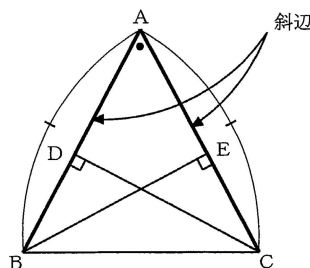
共通だから、 $\angle BAE = \angle CAD \dots ③$

①②③より、
直角三角形の斜辺と1つの鋭角がそれぞれ等しい
よって、 $\triangle ABE \cong \triangle ACD$

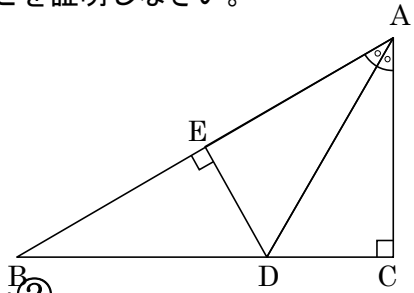
合同な図形の対応する辺は等しいから、 $AE = AD$



$AE = AD$ を証明するので
 $\triangle ABE$ と $\triangle ACD$ を使う



- 18 右の図の直角三角形 ABC において $\angle A$ の二等分線と BC との交点を D とし、D から AB にひいた垂線を DE とします。このとき、 $ED=CD$ であることを証明しなさい。



$\triangle AED$ と $\triangle ACD$ において、

仮定より、

$$\angle AED = \angle ACD = 90^\circ \quad \dots \textcircled{1}$$

$$\angle A \text{ の二等分線より、} \angle EAD = \angle CAD \quad \dots \textcircled{2}$$

$$\text{共通だから、} AD = AD \quad \dots \textcircled{3}$$

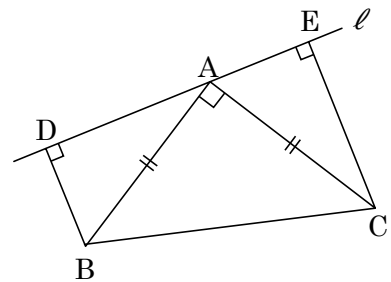
①②③より、

直角三角形の斜辺と 1 つの鋭角がそれぞれ等しいから、

$$\triangle AED \cong \triangle ACD$$

合同な図形の対応する辺は等しいから、 $ED = CD$

- 19 右の図のように、 $AB=AC$ 、 $\angle A=90^\circ$ の直角二等辺三角形 ABC の頂点 A を通る直線 ℓ に B、C から垂線 BD、CE をひくとき、 $DE = DB + EC$ であることを、次のように証明した。_____ にあてはまるものを答えなさい。



$\triangle ABD$ と $\triangle CAE$ において

$$\text{仮定より、} \angle ADB = \angle CEA = 90^\circ \quad \dots \textcircled{1}$$

$$AB = CA \quad \dots \textcircled{2}$$

$$\angle ABD = 90^\circ - \angle BAD = \angle CAE \quad \dots \textcircled{3}$$

①②③より、2 つの直角三角形で、斜辺と 1 つの鋭角 がそれぞれ等しい

よって、 $\triangle ABD \cong \triangle CAE$

したがって、 $DB = EA$, $EC = DA$ だから、 $DE = DB + EC$

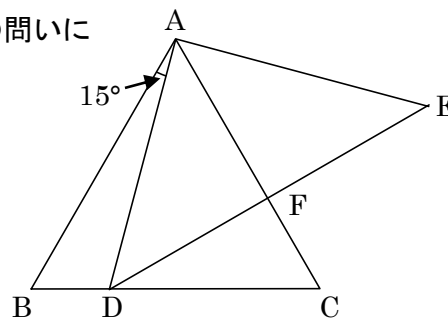
20 右の図で、 $\triangle ABC$ は正三角形、 $\triangle ADE$ は $\angle DAE$ が直角で $AD=AE$ の直角二等辺三角形である。 $\angle BAD=15^\circ$ であるとき、次の問いに答えなさい。

BCDE

① $\angle ADB$ の大きさを求めなさい。

$$\angle ADB + 60^\circ + 15^\circ = 180^\circ$$

$$\angle ADB = 105^\circ \quad \underline{105^\circ}$$



② AC と DE との交点を F としたときの $\angle CFE$ の大きさを求めなさい。

$$\triangle ADE \text{ は直角二等辺三角形だから, } \angle DAE = 90^\circ, \angle ADF = (180^\circ - 90^\circ) \div 2 = 45^\circ$$

$$\angle DAF = 60^\circ - 15^\circ = 45^\circ$$

$$\angle DFA = 180^\circ - 45^\circ - 45^\circ = 90^\circ = \angle CFE$$

$$\underline{90^\circ}$$

③ $\triangle ADF$ と合同な三角形を答えなさい。

$$\underline{\triangle AEF}$$

21 右の図のように、点 O を中心とする円と $OA=OB$ となる $\triangle OAB$ がある。

BCDE

$\triangle OAD \equiv \triangle OBC$ であることを証明しなさい。

$\triangle OAD$ と $\triangle OBC$ において、

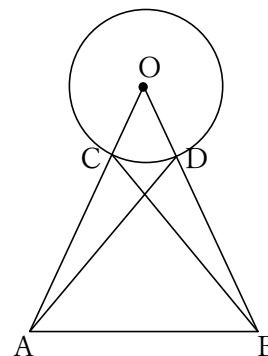
仮定より、 $OA=OB$ …①

円 O の半径だから、 $OC=OD$ …②

共通だから、 $\angle AOD = \angle BOC$ …③

①②③より、2組の辺とその間の角がそれぞれ等しいから、

$\triangle OAD \equiv \triangle OBC$



22 右の図のような二等辺三角形 ABC と ADE があり、頂点 C, E と頂点 B, D をそれぞれ結ぶ。次の問いに答えなさい。

BCDE

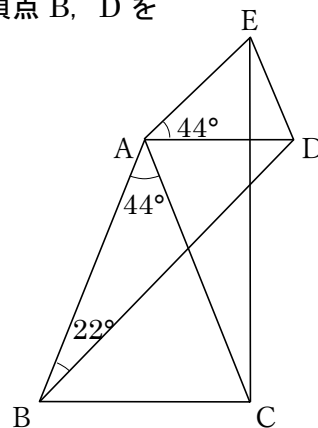
① AD//BC のとき、 $\angle ADB$ を求めなさい。

$$\begin{aligned} \text{二等辺三角形 } ABC \text{ で, } \angle ABC &= (180^\circ - 44^\circ) \div 2 \\ &= 68^\circ \end{aligned}$$

錯角だから,

$$\angle ADB = \angle DBC = \angle ABC - \angle ABD = 68^\circ - 22^\circ = 46^\circ$$

46°



② $BD=CE$ であることを証明しなさい。

$\triangle ABD$ と $\triangle ACE$ において、仮定より、 $AB=AC$ …①

$AD=AE$ …②

$\angle BAD = 44^\circ + \angle CAD$ …③

$\angle CAE = 44^\circ + \angle CAD$ …④ ③④より、 $\angle BAD = \angle CAE$ …⑤

①②⑤より、2組の辺とその間の角がそれぞれ等しいから、

$\triangle ABD \equiv \triangle ACE$ よって、 $BD=CE$

23 右の図のように、正方形 ABCD の頂点 B を通り、辺 AD と交わる直線 ℓ に、A, C から垂線をひき、 ℓ との交点をそれぞれ E, F とする。

BCDE

$\triangle ABE \equiv \triangle BCF$ を証明しなさい。

$\triangle ABE$ と $\triangle BCF$ において、

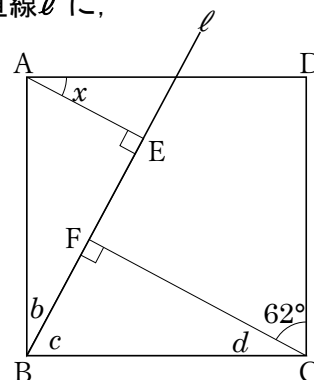
仮定より、 $AB=BC$ …①

$\angle AEB = \angle BFC = 90^\circ$ …②

$\angle ABE = 90^\circ - \angle CBF = \angle BCF$ …③

①②③より、直角三角形の斜辺と1つの鋭角がそれぞれ等しいから、

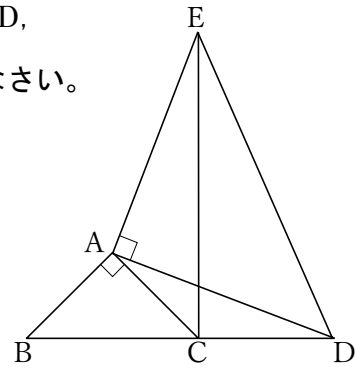
$\triangle ABE \equiv \triangle BCF$



24

CDE

右の図のように、直角二等辺三角形 ABC , ADE があり、頂点 C, D ,
頂点 C, E をそれぞれ結ぶ。 $\triangle ABD \equiv \triangle ACE$ であることを証明しなさい。



$\triangle ABD$ と $\triangle ACE$ において、

仮定より、 $AB = AC$ …①

$AD = AE$ …②

$\angle BAD = 90^\circ + \angle CAD$ …③

$\angle CAE = 90^\circ + \angle CAD$ …④

③④より、 $\angle BAD = \angle CAE$ …⑤

①②⑤より、2組の辺とその間の角がそれぞれ等しいから、

$\triangle ABD \equiv \triangle ACE$